

# 平成24年度 一般社団法人衛星放送協会 事業報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

## 1. 概要

平成24年度、衛星基幹放送であるBS、110度CS放送は、計画されているすべての放送サービスを開始した。衛星一般放送の124/128度放送は、MPEG-2放送の一部を除くサービス終了に向けたスケジュールが2013年1月に発表された。また、次世代テレビや次世代サービスの検討が総務省を中心にスタートした。

平成24年度の衛星放送協会の活動は、有料・多チャンネル放送の普及促進に向けて、各プラットフォーム事業者及び関連団体と協力し積極的に活動した。

主な具体的な活動は、平成24年4月1日に社団法人から一般社団法人へ移行、5月に一般社団法人として初めての理事選挙を実施した。6月には第1回社員総会で新役員体制を発足させ、7月に各専門委員会のメンバーを改選して新体制をスタートさせた。また、第1回社員総会で衛星放送協会の附属機関として新たに「記録保存所」の設立が承認され、7月1日に文化庁長官から「公的な記録保存所」の指定を受け活動を開始した。

5年目を迎えた多チャンネル放送研究所は、引き続き、有料・多チャンネル放送の契約数拡大への阻害要因、放送事業者による市場規模の予測及び視聴者の視聴実態調査を実施し、会員社・関連団体へ分析結果を発信した。オリジナル番組と編成の認知度向上を目的に創設した「衛星放送協会オリジナル番組アワード」は、第2回目を迎え衛星放送協会内外に有料・多チャンネル放送でしか視聴することの出来ないオリジナル番組の制作促進と、コンテンツ力をアピールした。また、社会貢献キャンペーンは東日本大震災からの復興をテーマに展開した。さらに、12月には不正視聴防止を鑑みキャンペーンを実施した。

平成24年度、衛星放送協会は、種々の課題に取り組み、放送文化の発展に向け一翼を担うよう活動した。

参考資料:多チャンネル放送の平成25年3月末の加入契約数は以下の通りである。

(単位:万件)

	平成25年3月末	平成24年3月末	増減
DTH(*1)	372	370	+2
(124/8度)	(176)	(196)	(-20)
(110度)	(196)	(174)	(+22)
CATV(*2)	640	647	-7
IPTV(*2)	81	78	+3
スカパー光(*1)	10	11	-1
合計	1,103	1,106	-3

\*1:スカパーJSAT公表値、110度にはスカパー!のBS契約を含む

\*2:協会推計値

## 2. 衛星放送協会の事業報告

### (1) 重点事項

#### ① 多チャンネル放送加入者拡大のための活動推進

##### 124/128度CS放送

平成26年5月31日のMPEG-2放送サービス終了※に向けて、H. 264への順調な移行を目指し、スカパーJSAT(株)と意見の交換を重ね、各種施策に取り組んだ。平成25年5月のMPEG-2放送サービスの新規受付終了※を控え、スカパーJSAT(株)とのより密に情報が交換できる体制が定着した。※一部サービスを除く

##### BS、110度CS放送

BS放送事業者と110度CS放送事業者が、スカパーJSAT(株)と連携して普及促進活動を展開できるように、会員社の意見を集約し、加入者拡大に向け活動した。(一社)デジタル放送推進協会を含め、これまで以上にBS放送事業者と110度CS放送事業者が一体となり衛星放送の普及促進活動を推進できる体制が築かれた。

##### ケーブルテレビ

ケーブルテレビ経由の多チャンネル放送の加入契約数拡大に向けて、新規加入拡大策と解約防止策を放送事業者の立場で検討した。2者懇談会を通じてケーブルテレビ事業者と意見・情報を交換し、適正で良好な関係が構築できるように活動した。また、ケーブルコンベンションの主催団体として引き続き参加し、積極的に運営に関与した。

##### プレミア

プラットフォーム事業者との意見交換及び企画提案を行い、共同販促の確立に向けて、調整活動を行った。引き続き、情報共有に重点を置いた。

#### ② 多チャンネル放送研究所の強化

多チャンネル放送研究所は、平成24年度も引き続き「市場規模の予測調査」、「放送事業者の実態調査」、「視聴者の実態調査」を実施することで、多チャンネル放送への立体的アプローチを更に深めた。これらの調査結果は、報告書としてホームページ上及び衛星放送協会会員社に向けた発表会で報告された。さらに平成25年4月には2回目の一般を対象としたセミナーが開催されることになった。

#### ③ オリジナル番組アワードの継続実施

衛星放送協会は、オリジナル番組の制作促進とオリジナル編成の認知度向上を目的に創設した「衛星放送協会オリジナル番組アワード」を継続して第2回を実施した。1次審査、最終審査で受賞番組が決定され、社員総会後の懇親会内で第2回の授賞式が行なわれた。第3回は、3月21日より受付を開始し、平成25年7月に授賞式を開催する予定で準備を進めた。

#### ④ 放送を取り巻く社会的環境の把握及び対応

総務省との定例会合である一水会以外に、「放送サービスの高度化に関する検討会」(総務省主催)に積極的に参加し、次世代放送サービスにおいて有料・多チャンネル放送の新たな可能性を探った。2月には「110度CS放送画質評価会」を開催した。著作権権利団体との交渉に関しては、会員社の意見を取り纏め継続的に

交渉した。不正視聴対応として、12月に「不正視聴防止キャンペーン」を会員社から企画を募集し展開し、不正コピー防止キャンペーンも引き続き実施した。また、平成24年4月に施行された東京都の帰宅困難者対策条例に合わせて、会員各社の災害対策を調べて会員社の意識を高めた。

#### ⑤一般社団法人への移行

4月1日に一般社団法人へ移行した衛星放送協会は、協会の円滑な運営に向け、業務に関する意思決定機関を常任理事会から理事会に変え、業務執行理事制度を導入した。5月に正会員社の投票による理事選挙を実施し、6月に第1回社員総会を開催し新体制を発足した。平成24年度は6回の理事会を開き、諸規程も継続して見直しを図り、改訂した。

#### ⑥記録保存所の設置

衛星放送協会第1回社員総会で、記録保存所の設置を定款で定めた。この記録保存所は7月1日に文化庁長官より、放送業界としては3番目の公的記録保存所の指定を受けた。この指定により衛星放送協会会員の放送事業者は、文化的価値があり、再利用可能な番組を放送後6ヵ月を超えて保存することが可能になった。

#### ⑦社会貢献キャンペーンの継続実施

平成24年度の社会貢献キャンペーンは、「東日本大震災から1年、震災の影響を様々な面において受けている地域や人々へ、エンターテインメントとしての安らぎや希望を与える」をテーマとして、映像スポット企画を会員社より募集した。6月の第1回社員総会でスポット映像やポスターが紹介され、平成24年7月1日から平成25年6月30日の1年間、協会会員社の放送を中心にキャンペーンが展開されている。

#### ⑧関連団体との協力関係の強化

平成24年7月18日/19日に一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本CATV技術協会と共催でケーブルコンベンション2012を開催した。一般社団法人デジタル放送推進協会とはBSデジタル放送の普及推進に向けて活動した。一般財団法人放送セキュリティセンターには平成24年度より理事として運営に参加した。

## (2)定例会議 \*以下項目記載

### ①社員総会

#### 第1回社員総会(平成24年6月25日)

- ・平成23年度決算案承認の件及び平成23年度事業報告(承認)
  - ・定款一部変更の件(承認)
  - ・「衛星放送協会記録保存所に関する細則」制定の件(承認)
  - ・細則/規定一部修正の件(承認)
  - ・役員選任(理事・監事)の件(承認)
- (総会后)
- ・記者会見/懇親会及び第1回オリジナル番組アワード授賞式

### ②理事会

#### 理事会みなし決議(平成24年4月4日)

- ・業務執行理事選定の件(承認)

#### 第1回理事会(平成24年5月30日)

- ・平成23年度事業報告案及び平成23年度決算案承認の件の件(承認)
- ・定款一部修正の件(承認)
- ・「衛星放送協会記録保存所に関する細則」制定の件(承認)
- ・細則/規定一部修正の件(承認)
- ・役員選任(理事・監事)の件(承認)
- ・新規入会の件(株ビーエスFOX/ブロードキャスト・サテライト・ディズニー(株) 他)
- ・第1回定時社員総会議題の件(承認)
- ・事務局規程による指名事項の件(報告)
- ・第2回衛星放送協会オリジナル番組アワード応募状況(報告)
- ・社会貢献キャンペーン進捗(報告)
- ・青少年健全育成活動について(報告)
- ・会員の異動(報告)

#### 第2回理事会(平成24年6月25日)

- ・平成24、25年度代表理事(会長)、副会長、及び業務執行理事選定の件(承認)
- ・平成24、25年度常務理事選定の件(承認)
- ・平成24、25年度衛星放送協会各委員会、衛星テレビ広告協議会(CAB-J)、並びに衛星放送協会記録保存所の役職委嘱の件(承認)
- ・常務理事役員報酬の件(承認)

#### 第3回理事会(平成24年7月25日)

- ・衛星テレビ広告協議会(CAB-J)運用規約改定の件(承認)
- ・ガイドライン委員会・普及促進委員会に係る件(承認)
- ・各委員会メンバー応募状況(報告)
- ・ケーブルコンベンション2012報告(報告)
- ・第2回アワード報告及び今後のアワードについて(報告)

#### 第4回理事会(平成24年11月1日)

- ・平成24年度上期協会活動について(報告)
- ・平成24年度各委員会・附属機関活動状況(報告)
- ・平成24年度予算執行状況と見込(報告)
- ・役員人事について(報告)
- ・不正視聴防止キャンペーンの件(報告)

#### 第5回理事会(平成25年1月25日)

- ・衛星放送協会事務所移転の件(承認)
- ・低炭素社会実行計画の件(承認)
- ・平成24年度の商業用レコードの放送二次使用契約の件(承認)

- ・新規入会の件(株エクスプレス)(承認)
- ・平成25年度予算について(一般会計のみ)(報告)
- ・画質評価会について(報告)
- ・ラウドネスの対応に関して(報告)
- ・平成25年度社会貢献活動について(報告)
- ・第3回オリジナル番組アワードについて(報告)
- ・事務局BCPについて(報告)
- ・ケーブルコンベンション2013(報告)

#### **第6回理事会**(平成25年3月26日)

- ・平成25年度事業計画(案)及び予算(案)承認の件(承認)
- ・一般社団法人衛星放送協会就業規則改訂の件(承認)
- ・一般社団法人衛星放送協会国内出張旅費規程改訂の件(承認)
- ・ラウドネスに関するガイドラインの制定の件(承認)
- ・衛星放送協会主たる事務所の移転日の件(承認)
- ・新規入会の件(成人番組倫理委員会)(承認)
- ・協会全体活動状況(報告)
- ・各委員会/附属機関活動状況(報告)
- ・110度CS放送画質評価会について(報告)

### **④一水会**

(総務省 衛星・地域放送課と協会による原則偶数月開催の定例会議:協会側の説明は、理事会で報告されているので省略し、行政よりの説明事項のみ記載)

#### **4月度 一水会** (平成24年4月20日)

- ・今後の動向について(ICT 政策)

#### **6月度 一水会** (平成24年6月6日)

- ・知識情報社会の実現に向けた情報通信政策の在り方(平成23年諮問第17号)報告書(案)に対する意見募集に係る件
- ・東経110度CSの業務認定に係る件
- ・圧縮技術について
- ・B-CASカードの改竄問題について

#### **8月度 一水会** (平成24年8月6日)

- ・東経110度CS放送の認定申請に係る件

#### **10月度 一水会** (平成24年9月27日)

- ・放送事業者へのヒアリング実施の件
- ・スーパーハイビジョンに関する件

#### **12月度 一水会** (平成24年12月5日)

- ・情報交換

#### **2月度 一水会** (平成25年2月5日)

- ・次世代衛星放送テストベッド事業(平成24年度補正予算)について

### **⑤2者懇談会**((一社)日本ケーブルテレビ連盟と協会との定例会議)

#### **第62回** (平成24年4月12日)

- ・スカパー！のMPEG-2放送終了について(報告)
- ・多チャンネルの販促について(意見交換)

#### **第63回** (平成24年6月8日)

- ・スカパー！サービス(MPEG-2)終了についての進捗(報告)
- ・放送番組保存に関する業務委託について(意見交換)
- ・マーケット拡大を目的とした世帯数報告方法について(意見交換)
- ・B-CASについて(報告)

#### **第64回**（平成24年10月22日）

- ・新メンバー紹介
- ・今期テーマ(意見交換)
- ・スカパー！MPEG-2放送の終了について(報告)
- ・契約条項の遵守について(報告)

#### **第65回**（平成24年11月26日）

- ・ケーブル向けペイチャンネルキャンペーンの実施報告と提案について(意見交換)
- ・スカパー！MPEG-2放送の終了について(報告)

#### **第66回**（平成25年1月29日）

- ・スカパー！のMPEG-2放送終了について(報告)
- ・衛星放送協会「不正視聴防止キャンペーン」について(報告)

#### **第67回**（平成25年3月12日）

- ・多チャンネル放送研究所第11回事業者予測調査について(報告)
- ・スカパー！のMPEG-2放送終了について(報告)
- ・多チャンネルモニター視聴による既設STB向け加入拡大について(意見交換)
- ・今後の2者懇の運営について(意見交換)

### **(3)委員会活動**

委員会活動の概要と、委員会の議事項目、活動項目とセミナー/説明会を記載する。

#### **総務グループ**

##### **①総務委員会**

4月1日に衛星放送協会を一般社団法人へ円滑に移行させた。併せて定款及び諸規程を改訂し、協会全般の運営を補佐した。6月に一般社団として初めての社員総会を開き、2月には第6回人材育成セミナーを開催した。

##### **4月度**(4月6日)

一般社団法人移行について/役員改選について/定款変更の件/社員総会・懇親会について/次期委員会対応について/一般社団法人移行挨拶状文案について

##### **5月度**(5月11日)

定時社員総会議題案について/総会後の催し物について/事務局節電対策について/消費税の調査票の件/事務所移転検討について/会費調査について

##### **6月度**(6月1日)

定時社員総会について/懇親ゴルフ会について

##### **8月度**(8月3日)

申送り事項の確認ほか

##### **9月度**(9月7日)

会費制度について/人材育成ワーキンググループ(WG)報告/事務局移転検討の件/来年1月4日(金)事務局員出勤の件/懇親ゴルフコンペの件/賀詞交歓会の件

##### **10月度**(10月12日)

事務所移転先候補について/人材育成セミナーについて/会費問題について/来年1月4日(金)事務局員出勤の件/下期予算について

##### **11月度**(11月2日)

「低炭素社会実行計画」について/事務所移転の件/会費制度の在り方について/字幕放送について/人材育成セミナーについて

##### **12月度**(12月6日)

人材育成セミナーについて/「低炭素社会実行計画」について/賀詞交歓会について/会費制度の在り方について/事務所移転検討について

##### **1月度**(1月10日)

人材育成セミナーについて/事務局移転先について/平成25年度予算案について/賀詞交歓会について

##### **2月度**(2月8日)

人材育成セミナーについて/事務局移転について/会費制度の在り方について/就業規則・出張旅費規定に

ついて/平成25年度事業計画について

### 3月度(3月1日)

平成25年度収支予算(案)について/第6回人材育成セミナー結果報告について/就業規則(退職基準)改定案について/国内出張旅費規程 改定案について/事務所移転先レイアウト案について

#### ■第6回人材育成セミナーの開催

テーマ	経営者・演出家の視点から見た有料多チャンネルの展望
日時	平成25年2月20日(水) 15:00~20:00
場所	経団連ホール(大手町)
講師	日本映画衛星放送(株) 代表取締役社長 杉田成道氏
参加人数	23社47名

#### ■第13回衛星放送協会懇親ゴルフ会の開催(平成24年11月5日)

## ②広報委員会

業界認知向上に向け、記者会見を6月と1月に計2回開き、B-magaを軸にして、定期的に衛星放送協会の紹介記事を掲載した。社会貢献活動は「震災後1年経過をした日本全体を元気づける」をテーマで展開した。12月には急遽「不正視聴防止キャンペーン」も実施した。11月に第5回業界若手交流会を開催した。

### 4月度(4月18日)

社会貢献キャンペーンCM/B-maga記事/衛星放送協会ホームページ

### 5月度(5月16日)

2012年度社会貢献キャンペーンCM/青少年健全育成活動/6月号B-maga記事

### 6月度(6月20日)

2012年度社会貢献キャンペーンCM/6月25日記者会見

### 8月度(8月22日)

年間スケジュール/若手交流会の件

### 9月度(9月19日)

若手交流会の件/B-maga について/社会貢献キャンペーンについて

### 10月度(10月17日)

B-maga連載の件/業界若手交流会の件/今期予算と見込みの件/不正視聴防止キャンペーンの件

### 11月度(11月21日)

若手交流会について/社会貢献キャンペーンについて/不正視聴防止キャンペーンの件/年頭記者発表について

### 12月度(12月19日)

年頭記者発表、賀詞交換会の件/B-magaの件/不正防止キャンペーンCMの露出の件/社会貢献キャンペーンの件/青少年健全育成活動の件/若手交流会の件/予算の件

### 1月度(1月16日)

年頭記者会見・賀詞交換会の件/Bマガの誌面展開の件

### 2月度(2月20日)

社会貢献活動キャンペーンCM今後のスケジュールの件/Bマガの誌面展開の件

### 3月度(3月18日)

社会貢献活動キャンペーンプレゼン審査会/B-magaの誌面展開の件

#### ■第5回業界若手交流会の実施

日時	平成24年11月6日(火) 19:00~21:00
場所	THE THEATRE TABLE(渋谷ヒカリエ11F)
参加人数	37社197名

### ③技術委員会

会員社に共通する放送技術課題について調査研究を行った。9月にはラウドネス勉強会を開き、3月に「ラウドネスに関するガイドライン」を定め、協会ホームページで公開した。2月には「110度CS放送画質評価会」を実施した。

#### 4月度(4月16日)

ラウドネス関連の情報共有

#### 5月度(5月10日)

自己点検の実施などについて/ラウドネス関連の情報アップデートについて

#### 8月度(8月1日)

2012年度技術委員会での対応課題について/ラウドネスについて

#### 9月度(9月5日)

2012年度技術委員会での対応課題について/ラウドネス勉強会の対応

#### 10月度(10月3日)

ラウドネス勉強会の報告

#### 11月度(11月7日)

ラウドネス対応/ダウンミックス係数撤廃の件

#### 12月度(12月13日)

ラウドネス対応/ダウンミックス係数撤廃の件/総務省放送サービス高度化に関する検討会

#### 1月度(1月9日)

総務省の放送サービスの高度化に関する検討会について/110CS画質評価会の検討/ラウドネス対応

#### 2月度(2月6日)

110度CS放送に関する画質評価対応/総務省「放送サービスの高度化に関する検討会」/技術審査基準の見直しの件/ラウドネス対応

#### 3月度(3月6日)

110CSに関する画質評価対応/ラウドネスガイドライン/技術基準等に係る申請の手引き見直しの件

#### ■ラウドネス勉強会実施

日時	平成24年9月26日(木) 15:30~17:00
場所	青山荘
講師	技術委員長 河崎 憲一郎氏、他
参加人数	52社86名

#### ■110度CS放送画質評価会実施

評価内容	110度CSのHD12スロット4チャンネル統計多重/フィールドストラクチャー制御ON 110度CSのHD16スロット3チャンネル統計多重/フィールドストラクチャー制御ON(現行) 地デジ相当HD(CBR14Mbps)/フィールドストラクチャー制御OFF
日時	平成25年2月18日(月)~20日(水) 10:30~17:20
場所	スカパー東京メディアセンター(東陽町)
参加人数	66社176名

### ④アワード委員会

多チャンネル放送のオリジナル番組制作促進と認知向上を目指して創設したオリジナル番組アワードの第2回と第3回を実施運営した。第2回は4月より第1次審査を開始し、6月に最終審査を終え、授賞式を実施した。番組や編成企画の応募数は、オリジナル番組部門94番組、編成企画部門21企画の応募数であった。第3回オリジナル番組アワードは8月より準備を始め、3月21日より受付を開始した。

#### 5月度(5月17日)

社員総会後の懇親会とオリジナル番組アワード授賞式について/受賞作品のプレスリリースについて

#### 8月度(8月21日)

第2回までのアワードの振り返り/2012年度のアワード委員会の予算とその執行状況/今後の課題



**9月度**(9月12日)

授賞式の開催日およびアワード実施スケジュールについて/授賞式の運営方法について/セミナーの開催について/今後の課題

**10月度**(10月10日)

授賞式別会場での実施プランについて/広報活動プランについて/会員各社への啓蒙プランについて

**11月度**(11月14日)

実施スケジュールについて/スケジュールの詳細と予算案について/応募要領について

**12月度**(12月5日)

授賞式の会場について/審査委員について/応募要領について

**1月度**(1月9日)

説明会について/重点項目の確認/今後のスケジュールについて

**2月度**(2月13日)

会員社への案内について/最終審査委員のスケジュールについて/授賞式について

**3月度**(3月13日)

一次審査員の応募状況と最終審査委員について/授賞式の構成について

■第2回衛星放送協会オリジナル番組アワードの受賞作品

オリジナル番組賞 最優秀番組

部 門	番組名	チャンネル	会員社名
ドラマ番組	Kesennuma, Voices. 東日本大震災復興特別企画 ～堤幸彦の記録～	TBSチャンネル	(株)TBSテレビ
ドキュメンタリー番組	世界が私を待っている 前衛芸術家草間彌生の疾走	NHK BSプレミアム	日本放送協会
中継番組	中村勘三郎 魂の舞台 三島村歌舞伎「平家女護島 俊寛」	WOWOWライブ	(株)WOWOW
バラエティ番組	千原ジュニアの映画製作委員会	チャンネルNECO	日活(株)
情報教養番組	ウィーン・フィル最前線(全4話)	クラシカ・ジャパン	(株)東北新社
ミニ番組	シネマの中へ ～長塚京三 映画の話～ 「アメリカの影」	ザ・シネマ	(株)ザ・シネマ
アニメ番組	X-MEN	アニマックス	(株)アニマックスブロードキャスト・ジャパン
審査員特別賞	伊藤大輔監督特集番組 甦るフィルム ～時代劇の父と幻の映画の旅路～	衛星劇場	(株)衛星劇場

オリジナル編成企画賞 最優秀編成企画

部 門	編成企画名	チャンネル	会員社名
編成企画	日本映画専門チャンネル×岩井俊二 映画祭 映画は世界に警鐘を鳴らし続 ける	日本映画専門チャンネル	日本映画衛星放送(株)

最終審査委員（敬称略）

審査委員長	吉岡 忍	ノンフィクション作家
オリジナル番組賞	石井 彰	放送作家
	大木 隆士	読売新聞社
	音 好宏	上智大学 教授
	鴨下 信一	演出家
	小宮山 悟	野球評論家
	田中 早苗	弁護士
オリジナル編成企画賞	杉本 恵都子	スカパーJSAT ※ガイド誌担当
	寺嶋 貴樹	ひかりTV(アイキャスト) ※ガイド誌担当
	中野 真理子	ジュピターテレコム ※ガイド誌担当
	丸山 玄則	朝日新聞社
	宮崎 美紀子	東京新聞社

■第3回衛星放送協会オリジナル番組アワードの説明会実施

日時	平成25年2月12日(火) 13:30~14:30
場所	NHK青山荘(表参道)
説明員	岩本アワード委員長、村田副委員長、岡崎委員、宮澤委員
参加人数	26社36名

コンプライアンスグループ

⑤著作権委員会

記録保存所を6月に設置し、7月に公的記録保存所の指定を受けた。著作権に関わる各団体と継続した交渉を実施した。

**4月度**(4月27日)

公的記録保存所/JASRACの非管理楽曲/JASRAC体制について/ライブ放送のニコ生配信について

**5月度**(5月25日)

公的記録保存/CCD総会報告

**6月度**(6月18日)

公的記録保存所の設立準備について/レコ協・CPRAの平成24年度放送二次使用料について/ドワンゴ社訪問について/JASRAC

**7月度**(7月20日)

レコ協・CPRAとの契約について/ワーキンググループ活動について

**8月度**(8月29日)

H24年度の放送二次使用料に関するCPRA、レコ協からの提案への対応について/HDへの移行費用の考え方について/不正視聴キャンペーンについて/記録保存所について

**9月度**(9月28日)

レコ協・CPRAとの平成24年度放送二次使用料に関する協定交渉について/著作権セミナーについて/権利問題研究会からの報告/著作権ビジネス研究会報告からの報告

**10月度**(10月26日)

平成24年度の放送二次使用料に関するCPRAおよびレコ協への対応について/JASRACとの交渉について/著作権セミナーについて

**11月度**(11月30日)

JASRACとの打合せについて/レコ協CPRAへの対応/著作権セミナーについて/デジタル時代の著作権協議会(CCD)研究会報告

**12月度**(12月18日)

平成24年度の放送二次使用料に関するCPRAおよびレコ協への対応について/JASRACとの交渉

**1月度①**(1月18日)

平成24年度の放送二次使用料に関するCPRAおよびレコ協への対応について/JASRACとの交渉

**1月度②**(1月30日)

JASRACとの交渉について/レコ協・CPRAとの交渉について/CCD権利問題研究会報告

**2月度**(2月22日)

レコ協・CPRAとの平成24年度商業用レコードの使用に関する協定書等/JASRACとの交渉について

**3月度**(3月29日)

平成24年度の商業用レコード使用に関する協定/JASRACとの交渉について/デジタル時代の著作権協議会(CCD)権利問題研究会報告/記録保存所

■著作権セミナー開催

テーマ	平成24年改正著作権法の解説～放送事業との関わりについて～
日時	平成24年11月28日(水) 14:00～16:00
場所	虎ノ門ツインビルディング カンファレンスホール(港区)
講師	池村 聡氏(森・濱田松本法律事務所弁護士 前文化庁著作権課著作権調査官)
参加人数	40社80名

## ⑥倫理委員会

番組制作並びに放送の倫理向上に関する活動を実施した。10月に第12回、2月には第13回の倫理委員会/CAB-J共催セミナーを開催した。3月には青少年健全育成活動の一環として小学生の親子を対象としたスタジオ見学会を実施した。

**4月度**(4月9日)

青少年健全育成活動について/倫理委員会・CAB-J共催セミナー関連について

**5月度**(5月11日)

青少年健全育成活動について

**6月度**(6月4日)

青少年健全育成活動「放送の現場を見せます！」について/倫理委員会・CAB-J共催セミナーについて

**7月度**(7月31日)

2012年の活動予定/ワーキンググループについて

**9月度**(9月11日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/テレビショッピング事業者連絡会/青少年健全育成活動

**10月度**(10月2日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/青少年健全育成活動/テレビショッピング事業者連絡会

**11月度**(11月6日)

テレビショッピング事業者連絡会/青少年健全育成活動

**12月度**(12月4日)

テレビショッピング事業者連絡会/青少年健全育成活動/「公益通報ハンドブック」について/倫理委員会・CAB-J共催セミナーについて

**1月度**(1月15日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/テレビショッピング事業者連絡会/広告放送のガイドラインについて

**2月度**(2月5日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/テレビショッピング事業者連絡会/青少年健全育成活動

**3月度**(3月5日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/テレビショッピング事業者連絡会/青少年健全育成活動/成人番組倫

理委員会について/内閣府「子ども・若者白書」に係る記述について

■第12回倫理委員会/CAB-Jセミナーの実施

テーマ	SNS大炎上！～ネット上の不用意な一言の恐怖と予防策～
日時	平成24年10月3日(水) 14:00～16:00
場所	NHK青山荘(表参道)
講師	人見高德氏(弁護士/TMI総合法律事務所)
参加人数	34社64名

■第13回倫理委員会/CAB-Jセミナーの実施

テーマ	JAROの業務内容と審査のプロセス、JAROの審査実績と平成24年度上半期の見解事例
日時	平成25年2月8日(金) 14:30～15:30
場所	NHK青山荘(表参道)
講師	公益社団法人日本広告審査機構(JARO) 専務理事 勝 俊明氏
参加人数	54名

■青少年育成活動の推進:春休み、テレビ番組の制作現場見学会の実施

内容	青少年健全育成活動の推進を目的として、小中学生を対象に番組制作の現場を見学してもらう
日時	平成25年3月27日(水) 14:00～16:30
会場	東北新社・等々力スタジオ(世田谷区)
参加者	抽選で選ばれた小学生の親子3組7名

⑦災害対策委員会

災害に関する対応及び対策の情報収集・調査を実施した。震災から1年を経過した平成24年度の会員各社の災害対策の現状についてのアンケートを9月に実施した。アンケート結果を基に、各社の対策の現状について製本し、12月に会員社へ配布した。1月には、首都圏の帰宅困難者対策をテーマとした災害対策セミナーを実施した。また1月には協会事務局のBCPを定めた。

**4月度**(4月10日)

首都圏直下型地震が起きた場合に備えた、衛星放送協会としての対策や議論について/2012年度活動方針について/スカパーJSAT社におけるBCPについて

**7月度**(7月20日)

2012年度活動計画について/アンケートの実施について

**11月度**(11月14日)

アンケート結果の集計について/災害対策委員会セミナー開催について

**1月度**(1月17日)

事務局BCPについて/中小企業BCPの取り扱いについて

■災害対策セミナーの実施

テーマ	首都圏の帰宅困難者対策
日時	平成25年1月17日(木) 14:00～15:30
場所	NHK青山荘(表参道)
講師	廣井 悠 氏(名古屋大学 減災連携研究センター 准教授)
参加人数	36社60名

## 業務グループ

### ⑧124/128度委員会

スカパーJSAT社と情報を共有して、スカパー！プレミアムサービスの加入者拡大と、H. 264への移行促進を目指す活動を実施した。

#### 5月度①(5月8日)

スカパーJSAT臨時経営者連絡会での提案について意見とりまとめ

#### 5月度②(5月17日)

提案について、スカパーJSAT社との意見交換

#### 6月度(6月13日)

MPEG2終了告知に関するケーブルテレビ連盟への申し入れについて/4月27日スカパー提案に対する意見交換

#### 7月度(7月26日)

スカパーJSAT社より「プレミアムサービスへの再構築」/スカパーブランド一元化についての意見集約

#### 8月度(8月28日)

スカパーブランド一元化についての意見集約

#### 9月度(9月21日)

スカパーサービスブランド一元化について/MPEG-2放送終了に関連する事項について

#### 10月度(10月17日)

スカパーサービスブランド一元化について/MPEG-2放送終了に関連する事項について/サービス一元化に関連した店頭展開について

#### 11月度(11月17日)

スカパーカスタマーセンター入電対応/MPEG-2放送サービス終了/塩漬け商品の対応方針について

#### 12月度(12月20日)

MPEG-2放送終了関連について/MPEG-2⇒H. 264移行の状況について

#### 1月度(1月30日)

カスタマーセンター状況について/MPEG-2⇒H.264移行の状況について/よくばりパック関連報告

#### 2月度(2月27日)

HD移行の1月・2月受付状況について/MPEG-2⇒H.264移行の状況について/よくばりパック関連報告

#### 3月度(3月27日)

スカパー・ブロードキャスティングのガイドラインについて/HD 移行受付状況について/MPEG-2⇒H.264 移行の状況について/MPEG2 放送終了後の契約件数状況について/MPEG2 サービス終了スケジュールについて

### ⑨110度委員会

スカパーJSAT社と情報を共有して、スカパー！（旧e2）経由の加入者拡大及び更なる普及促進を目指す活動を実施した。

#### 4月度(4月5日)

フレッツテレビについて/衛星基幹放送再放送同意申込書について/同意書「反社会的勢力の排除」文言について/拡大大開放デー報告

#### 5月度(5月18日)

2012年3月BS開局2期プロモーションレビュー/2012年度大開放デー実施概要/フレッツテレビについて/衛星基幹放送再放送同意申込書について

#### 7月度(7月30日)

各WGの検討課題とメンバー募集/申し送り事項/スカパーJSAT社とブランド一元化についての質疑応答

#### 8月度(8月30日)

各WGの取り組みについて/「自動仮視聴メッセージ」について

## 9月度(9月24日)

自動仮視聴について/BS放送視聴促進キャンペーン報告/解約防止/パススルー/次期衛星契約約款/フレッツテレビ加入状況について

## 10月度(10月24日)

110度衛星切替について/パススルーについて/衛星契約約款について/パススルー進捗状況/フレッツテレビ加入状況について/9～10月の拡大大開放デーについて/BS見てね！キャンペーンについて/顧客維持活動について

## 11月度(11月26日)

解約防止および顧客維持活動の進捗について/12月2日と今後のキャンペーンについて/スカパーカスタマーセンター入電対応報告/パススルーについて/衛星契約約款について/フレッツテレビ加入状況について

## 12月度(12月19日)

110度手数料改定について/「BS見てね！キャンペーン」との連動キャンペーン報告/顧客維持活動について/再放送同意書・再放送同意申込書の雛形改定について/実施中のトライアルキャンペーン/フレッツテレビ加入状況

## 1月度(1月28日)

年末年始キャンペーンおよび1月加入状況の報告/無料キャンペーンの進捗報告/パススルー関連について/フレッツテレビ

## 2月度(2月25日)

1月加入状況および年末年始商戦レビュー/2月の10日間無料放送報告/2月解約関連データについて/パススルー進捗状況/次期衛星契約約款について/フレッツテレビについて

## 3月度(3月25日)

加入状況近況報告等/解約関連月次データ報告/パススルー関連/衛星契約関連/フレッツ TV について

## ⑩ケーブル委員会

ケーブルテレビおよびIPTV事業者と適正で良好な関係を構築するために、問題点を解決しつつ、ケーブルテレビ/IPTV経由の多チャンネル放送加入者の拡大を目指す活動を実施した。

## 4月度(4月16日)

業務配信問題/加入拡大施策/加入数等データ整理/共同購入対策/チャンネル販売方法検討/伝送路問題/MPEG-2放送終了に関する状況について

## 5月度(5月21日)

業務配信問題/加入拡大施策/加入数等データ整理/共同購入対策/チャンネル販売方法検討/伝送路問題/ケーブルコンベンション2012について

## 8月度(8月6日)

ケーブル委員会WGについて/業務配信問題/東北被災局視察報告

## 9月度(9月6日)

今期のWGについて/各WG報告/今後のスケジュールについて

## 12月度(12月17日)

未契約業務配信について/スカパー！MPEG-2放送の終了について/データ整備・事業対策/販促ツールの使用実態調査について/ケーブルショーへの参加について/次世代サービス

## 3月度(3月18日)

MPEG2 終了後の CATV 局向け配信について/データ整備について/チャンネル番号統一について/販促ツールの使用実態調査/ケーブルコンベンションについて/業務用配信問題/次世代サービス

## ◆ケーブル委員会運営委員会

## 10月度(10月15日)

今期ケーブル委員会活動の進め方について/各WGの活動目標

## 11月度(11月19日)

MPEG-2テレビ放送終了について/違法配信について/データ整備・事業対策/加入者拡大/ケーブルテレ

ビラボ情報交換会検討

**1月度**(1月21日)

MPEG-2放送終了について/データ整備・事業対策/チャンネル番号統一/販促ツール使用実態調査/ケーブルショーへの参加について/BB NEXT説明会

**2月度**(2月18日)

MPEG-2放送終了後のケーブル局配信対応について/JDSとJC-HITS検討中の1TS3ch化について/大手事業者への次世代サービス実態調査について/日本ケーブルテレビラボ次世代STBに関する説明会/営業報告書について/チャンネル番号統一について/販促ツール使用実態調査について/ケーブルコンベンションについて

**⑪プレミア委員会**

委員会内及び各プラットフォーム事業者との情報共有に重点を置き、さらなるプレミアチャンネルの普及促進を目指す活動を実施した。

**4月度**(4月8日)

共同販促/情報共有

**5月度**(5月18日)

共同販促/情報共有

**6月度**(6月8日)

共同販促活動総括案確認/情報共有

**8月度**(8月2日)

スカパーJSAT社よりリブランディングについての説明

**9月度**(9月14日)

共同販促 WG に関する意見交換/情報共有

**10月度**(10月12日)

ケーブルテレビオプションチャンネル無料視聴キャンペーンについて/情報共有

**11月度**(11月16日)

スマートテレビ概要説明/ケーブルテレビでのオプションチャンネル無料視聴施策について/共同販促意見交換

**12月度**(12月14日)

顧客維持施策の成果と今後の方向性について/オプションチャンネルの無料視聴施策について

**1月度**(1月28日)

共同販促/情報共有/プレミアムパック名称変更について

**2月度**(2月14日)

共同販促/情報共有

**3月度**(3月14日)

共同販促/情報共有

**⑫BS委員会**

スカパーJSAT社と情報を共有し、110度委員会とは特に情報交換を密にして、BSチャンネルの普及促進を目指す活動を実施した。

**4月度**(4月24日)

拡大大開放デーに関して/パススルー情報の共有

**5月度**(5月31日)

BS共同プロモーションの整理/スカパー改革戦略について/BSアンテナ設備点検・取替促進キャンペーン

**7月度**(7月23日)

BSに関連する各委員会の情報共有/BSパススルーの確認/自動仮視聴について

#### 8月度(8月20日)

自動仮視聴について/BSキャンペーンについて

#### 9月度(9月25日)

2012年12月「BS見てね！キャンペーン」について/自動仮視聴について

#### 10月度(10月23日)

10月(10日間無料放送)の状況/12月DpaBSキャンペーンとの連携プロモーションについて/110放送業務手数料について

#### 11月度(11月27日)

12月1日広告出稿について/カスタマーセンターの対応について

#### 12月度(12月25日)

12月1日2日に実施された無料の日に関する報告/「BS見てね！キャンペーン」認知調査について/110度再放送同意書及び申込書の確認について

#### 1月度(1月29日)

「BS見てね！キャンペーン」認知調査報告について/110度再放送同意書及び申込書について

#### 2月度(2月26日)

大規模災害時のBS代替送出(BCP)について/2月10日間無料放送施策について

#### 3月度(3月28日)

報告事項

### (4)多チャンネル放送研究所

多チャンネル放送の普及促進を阻害している要因を把握/分析した。

- ✓ 研究報告書の公表
  - 平成24年7月： 多チャンネル放送の現状と課題2011～2011年多チャンネル放送実態調査より～
  - 平成24年7月： 第10回多チャンネル放送市場・事業者予測調査
  - 平成24年9月： 2012年多チャンネル放送実態調査・調査報告書
  - 平成25年1月： 第11回多チャンネル放送市場・事業者予測調査
  - 平成25年3月： 団塊ジュニアはテレビをどう見ているか～多チャンネル視聴実態調査2012～
- ✓ 発表会・セミナー・シンポジウム
  - 平成24年8月： 衛星テレビ広告協議会勉強会での発表
  - 平成24年11月： 多チャンネル放送研究所第4回発表会
  - 平成25年3月： 衛星テレビ広告協議会勉強会での発表
- ✓ ワークショップ
  - 平成25年3月： NHK放送技術研究所見学～スーパーHD(4K・8K)～

### (5)記録保存所

会員社が制作するオリジナル番組数の増加を受けて衛星放送協会記録保存所を第1回社員総会(6月25日)で定款に定め、設置された。7月1日には文化庁長官より公的な機関として指定を受けた。これにより、協会の放送事業者の文化的価値のある、または再利用の可能性のある番組を、放送後6ヵ月を超えても保存することが可能になった。

衛星放送協会記録保存所は、協会事務局に本所を置き、会員社を支所とした。実際の保存業務は各支所が行うことを定めており、7月1日の業務開始時点には34社の正会員社が支所として登録を済ませた。

9月4日に第1回会合を開き、支所承認書、マニュアル等の配布を行い、年度末の報告事項に関する内容を確認した。



## II.衛星テレビ広告協議会(CAB-J)

### 1. 衛星テレビ広告業界の概要

2012年の総広告費は、前年比103.2%、5兆8913億円と2007年以来5年ぶりの前年実績越えとなった。その中でCSを中心としたペイテレビの広告は、前年比102.0%、201億円となった。2001年からの集計以来、200億円の大台を初めて突破することができた。

2012年の総広告費は、2011年の東日本大震災の反動増など復興需要やロンドンオリンピックなどにより上期は回復傾向が顕著であった。ただ後半はエコカー減税・補助金終了により個人消費減退や、円高による輸出減少及び欧州経済低迷による企業業績の悪化、またそれらによる景気後退もあり、やや停滞感があった。しかしながら、前半の回復基調の影響が大きく、通年では広告費の5年ぶり増加という結果になった。

媒体別でみると、地上波テレビ広告を含む「マス4媒体」は、前年比102.9%と9年ぶりの前年越えとなった。最も構成比の高い「テレビ広告」は、2010年から1年ぶりのプラス成長の103.0%となった。それ以外の「新聞広告」・「雑誌広告」も104.2%、100.4%とそれぞれ9年ぶり、13年ぶりに前年比を越えることとなった。広告費全体は震災前の水準を上回るようになったが、これが継続するかどうかの判断はまだ予断を許さない状況と考えた方が良くと見るべきだろう。

そのような全体の好況下において、衛星メディア関連広告はインターネット広告とともにそれぞれ、前年比113.7%、107.7%と、顕著な増加を維持した。特に衛星メディア関連広告は、インターネット広告の伸びが1桁で推移している中で、2桁の成長を3年連続で達成した。これは、地上波TV放送完全デジタル化による多チャンネル対応が、BSデジタル放送を中心に消費者に定着しつつあることを示す結果であるとともに、先行してBSデジタル放送に対する広告主側のメディア認知が向上したことによるものである。それにより、無料BSの広告は前年比122.0%という高い伸びを引き続き示す結果となった。ペイテレビ広告が前年を超えたとは言え、メディアに於ける相対的な位置づけには、なお緊張感を持って臨む必要があるだろう。

この成長を持続させる為には、更なる広告主側への大きなアピールが求められる。近年の加入者停滞を踏まえ、よりターゲット広告としてチャンネルごとのプロフィールや、量的データ調査レベルアップを含むアカウントビリティの向上、及び視聴者や広告主へチャンネル認知度向上を積極的に進める必要がある。

## 2. CAB-J取り組み

### (1)重点活動

#### ①CAB-J総会開催と監査の実施

平成24年4月23日 衛星放送協会監事によるCAB-J監査実施

平成24年5月28日 CAB-J総会開催

#### ②ケーブルショー2012にCAB-Jとして参加

説明会実施

テーマ	「広告会社から見た有料多チャンネル放送サービスの今後」
日時	平成24年7月19日 16:00～17:00
場所	大手町サンケイプラザ202号室
講師	㈱電通 ラジオテレビ&エンタテインメント局 業務統括部 兼ペイTV事業部 部長 出田 稔氏
参加人数	68名

### ③公益社団法人日本アドバイザーズ協会(JAA)電波委員会向けセミナー開催

公益社団法人日本アドバイザーズ協会(JAA)の電波委員会向けにセミナーを開催した。

テーマ	「CSの現況、広告事例、機械式調査報告等」
日時	平成24年10月10日 15:00~17:00
場所	JAA会議室
講師	河西会長、他3名
参加人数	42名

### ④CAB-J正会員・賛助会員に対する勉強会の実施

CAB-J正会員・賛助会員向けに勉強会を2回実施した。

日時	平成24年8月23日 16:30~20:00
場所	TBS会議室
講演1 / 講師	「『将来の多チャンネル市場拡大に向けた次世代のテレビ視聴調査』報告」 講師:多チャンネル研究所研究員 (株)IMAGICA TV編成・制作局次長 清正 徹氏
講演2 / 講師	「これからの通販業におけるメディアの捉え方」 講師:(株)オークローンマーケティング 執行役員 堀 秀樹氏
講演3 / 講師	「惹きつけるCSメディア」 講師:(株)電通 ラジオテレビ&エンタテインメント局 局次長 林 紀夫氏
参加人数	171名

日時	平成25年3月6日 15:30~20:00
場所	TBS会議室
講演1 / 講師	「ペイテレビの未来~これからの成長に必要なこと~ <多チャンネル放送研究所の調査報告からの考察と提言>」 説明員:多チャンネル研究所 研究員・CAB-Jメディアデータ副委員長 (株)キッズステーション 編成部長) 坂本 直紀氏
講演2 / 講師	「機械式ペイテレビ接触率調査データについて」 講師:(株)ビデオリサーチ テレビ調査部 大竹 一正氏、重光 ゆみ氏
講演3 / 講師	「新・スマート百景~未来をひも解く8つのキーワード」 講師:(株)博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 矢木野 桂一郎氏
参加人数	174名

### ⑤衛星放送協会倫理部会/CAB-J総務・広報委員会共催セミナー開催

前年同様に平成24年10月3日と平成25年2月8日に計2回開催した(詳細はP12を参照ください。)

### ⑥ホームページ改訂作業の実施

広告主・広告会社向けの情報発信を改訂基本方針として、平成24年5月7日に全面リニューアルを実施した。

### ⑦広告売上調査実施

前年同様にCAB-J会員社の広告売上調査を実施した。

参考)調査結果

項目	平成24年度	平成23年度	前年比
広告売上	201億円	197億円	102%

## (2)委員会活動

### ①総務・広報委員会

#### 1)CAB-J公式ホームページ改訂

広告主・広告会社向けの情報発信を基本方針として、平成24年5月7日に全面リニューアルを実施した。

#### 2)ケーブルテレビ加入世帯数調査

平成24年6月末付、12月末付の総加入世帯数調査を実施した。

#### 3)CAB-J運用規約整備

一般社団法人への移行に伴い運用規約の整備を行い、CAB-J総会で決議の後、平成24年7月25日開催の第3回衛星放送協会理事会にて承認された。翌日より新規約による運用を開始した。

#### 4)広告考査関連活動

##### CM考査担当者連絡会議

平成24年度は合計11回の連絡会議を開催した。

会員各社のCM考査事例に関する情報交換や意見交換を行った他、CMガイドラインの改定担当者を選定中。

##### 衛星放送協会倫理委員会とCAB-Jの共催セミナー開催

本年度も2回開催し、いずれのセミナーも多数の参加があり好評であった(詳細はP12を参照ください)。

第12回(SNS大炎上!～ネット上の不用意な一言の恐怖と予防策~/人見高德様(TMI総合法律事務所 弁護士)

第13回(平成24年上期JAROの審査概況と見解事例/勝俊明様(公益社団法人日本広告審査機構 専務理事)

##### JAROレポートの配信

CAB-J会員社に役立つ情報をJARO会報誌の『広告に関する記事』より抜粋し、JAROレポートとして合計12回会員に配信した。

### ②営業推進委員会

#### 1)CAB-Jパーティ2012

広告会社・広告主協会・広告業協会を対象に、CAB-Jの活動報告とCSメディアの現状をより深く理解してもらうための媒体説明会、及び懇親パーティーを東京ドームホテルにて平成24年10月4日に実施。媒体説明会では、ビデオリサーチ社と連動し機械式ペイテレビ接触率で見たジャンル別の視聴ゾーンについて説明するとともに、最新の広告事例紹介などを行った。第一部会場の350席は満席となり、第二部も併せると当日の総出席者は550名となった。

#### 2)CAB-Jセミナーin関西2012

広告会社を対象に、昨年に引き続き関西地区でのCS媒体説明会、及び懇親パーティーを平成24年11月7日に大阪で実施。当日の総出席者は182名と過去最高の参加数であった。

#### 3)CS広告事例紹介映像作成

CSの媒体特色を視覚的にアピールするために広告事例紹介映像を作成。CAB-Jパーティーやセミナーなど媒体説明会場での使用、及び各局のセールスツールとして活用した。

#### 4)広告出稿調査

CS広告の現状把握を目的として、四半期ごとの正会員各社の出稿社、及び出稿内容の調査を実施。集計データ、出稿社一覧をとりまとめた。参考資料として正会員・賛助会員各社へ配布した。

#### 5)賛助会員社との意見交換

賛助会員社との連携を一層強化するため、小規模での賛助会員社との意見交換会を実施。今後のCAB-Jに期待する活動についてヒアリングを行った。

#### 6)広告主に対する活動

前述したようにJAA電波専門委員を対象にセミナーを開催した。

## 7)放送業務整備WG

CM素材の種類とその対応確認・CM素材搬入日時・CM送出業務、場所・10桁コード使用・ラウドネス対応・ACジャパン加入等、正会員社にアンケートを実施し、集計を行なった。

### ③メディアデータ委員会

#### 1)CAB-Jメディアデータブック2012制作

委員会内に編集委員会を組織し、CAB-Jパーティ前に10,000部印刷完了。編集作業と印刷業務をサテマガ・ビー・アイ㈱に委託して3年目となり、編集委員との連携もさらに改善した。

#### 2)各種セミナーの実施

CAB-Jセミナー2012での媒体説明会

メディアデータブックの内容を基に東京(10月4日)と大阪(11月7日)で計2回実施。

ケーブルコンベンション2012CAB-J後援セミナー

「広告会社から見た有料多チャンネルビジネスの今後」(7月19日講師:電通出田氏)

#### 3)機械式ペイテレビ接触率ワーキンググループの運営

議長、委員を一部メディアデータ委員が兼務し、「利用者側の要望を取り入れ、より良いアウトプット仕様、調査設計を決め、ペイテレビの広告市場発展に資すること」を目的に同ワーキンググループ及び分科会、そして上位のメディアデータ委員会等を開催。

##### 主要議題

- ① メディアデータブック記載データ
- ② 付帯調査項目仕様の決定
- ③ 衛星種類のチャンネル分類(CS/BS)から、ペイテレビ/無料放送の分類を基本とした方針変更の検討等。調査設計上の課題等
- ④ ケーブルショーCAB-Jセミナーの内容について
- ⑤ 平成24年新調査システム移行の検討
- ⑥ ペイテレビ接触率導入広告会社への調査チャンネル接触率の開示実験の計画(実験説明会3月19日実施)
- ⑦ 今後の機械式ペイテレビ接触率のありかたについて、広告会社とビデオリサーチ、WG参加チャンネル各社で議論。

#### CAB-J正会員社・賛助会員社入退会状況

正会員社	平成24年10月入会	ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)(ディズニージュニア)
	平成25年3月末退会	(株)NBCユニバーサルグローバル・ネットワークスジャパン(ユニバーサルチャンネル)
		(株)デジタルプラネット衛星放送(Music Japan TV)
平成25年4月入会	FOXインターナショナル・チャンネルズ(株)(FOXbs238)	

#### CAB-J会員数(平成25年4月1日現在)

項目	社数	チャンネル数
正会員	34社	67チャンネル
賛助会員	17社	-

以上